



打線は8安打の活躍。

市町村対抗軟式野球大会 飯舘村チームが躍動

第19回市町村対抗福島県軟式野球大会の1回戦に飯舘村チームが登場。9月14日に小野あぶくま球場で、柳津町チームと対戦しました。

旧飯舘中学校野球部の出身で、高校・大学でも活躍し、現在も企業チームでプレーする大内良真投手がチームに加わり先発。打線も相手チームを上回る8安打を記録しましたが、追加点のチャンスを相手チームの好守に阻まれ3対8で敗れました。

本大会は無念の敗退となりましたが、戦力に厚みを増したチームの今後に期待が高まります。



力投する大内投手。

裏磐梯の雄大な景色も満喫！ カヌー体験交流会

8月31日、北塩原村の秋元湖で、飯舘村教育委員会・いいたてスポーツクラブ・飯舘村公民館主催の『カヌー体験交流会』が開催されました。

事前に申し込んだ13人の参加者が、インストラクターによる操作講習を受け、2人乗りカヌーで湖に漕ぎ出しました。体験を満喫した後は、湖畔での交流会。現地の人気パン店「ささき亭」のパンを味わい、カヌー体験の感想を述べ合いながら、世代を越えて交流しました。



小中学生も家族と参加。カヌーに乗り湖上から裏磐梯の雄大な景色を体感しました。



完成した作品を手に、記念撮影をしました。前列中央が講師の巻野さん。色とりどりの作品ができました。

糸を使った 『革小物作り教室』開催

9月17日、交流センター「ふれ愛館」を会場に、『革小物作り教室』が開催されました。当日は8人の参加者が集まり、講師の巻野順子さん(飯舘町)の細やかな指導のもと、糸を使ったキーホルダーと眼鏡ケースを製作しました。

革を切る作業から、糸を通して革を縫う作業、光沢を出す磨きの作業など本格的な作業に挑戦し、集中して思わず無言になる瞬間も。参加者の皆さんは難しい作業に時おり苦戦しながらも、和やかな雰囲気で作品づくりに取り組んでいました。

令和8年二十歳の成人式 実行委員会が計画を推進中

9月6日、交流センター「ふれ愛館」で、『第2回令和8年二十歳の成人式実行委員会』が開催されました。平成17年4月2日から平成18年4月1日に生まれた方が対象の「令和8年二十歳の成人式」は、令和8年1月11日に開催されます。

実行委員は、委員長の渡邊諒介さん、副委員長の庄司幸人さん、高橋大和さん、三本松博文さん、齋藤春香さん、佐藤彩菜さんの6人。会場の装飾や記念パーティーについて協議し、それらの準備や当日の役割分担について、話し合いを進めました。



左の写真は第2回の出席者。前列左から齋藤さん、佐藤さん、後列左から庄司さん、高橋さん、渡邊さん。



黄金の稲穂を手に杉岡村長(写真左端)、庄司さん(左から2番目)、鈴木副大臣(写真中央)と地区の皆さん。

長泥地区で避難指示解除後初の稲刈り

9月24日、長泥地区で営農再開した庄司喜一さんのほ場にて、避難指示解除後初の稲刈りが行われました。当日は長泥地区の住民が駆け付けた他、復興庁より鈴木憲和副大臣が視察に訪れました。庄司さんは「長泥で育てたお米を長泥で食べられる日がやっと来たと思うと最高の気分です。これからも地域住民と一緒に頑張っていきたいです」と語りました。今回収穫したお米は、全量全袋検査を経て市場へ出荷される他、10月に地区内で行われるイベントで振る舞われる予定です。

福島大学の学生・院生が フィールドワークで来村

9月11日から12日にかけて、福島大学の学生・院生合わせて10人のグループが、『協働プロジェクト学修“飯舘村の歴史と魅力を探るフィールドワーク”で来村しました。

11日には村役場で、杉岡村長の講話を通して、東日本大震災の発災当時や避難期間の様子、現在の復興状況について理解を深めました。終了後は佐須地区へ移動し、1年前から伝承を支援する「虎捕太鼓」の練習に参加。12日には、山津見神社例大祭にて、虎捕太鼓の披露にも参加する予定です。



村役場を訪れ、杉岡村長の講話に熱心に耳を傾けた学生・院生の皆さん。終了後の記念撮影。